



大阪盛り上げ隊の「おもしろいこと」とは、何か一つに絞るのではなく、このサイクルを回し続けることで、常に何か新しいものを生み出し続けること。

# 強みを 活かす

## ■各団体・個人の強みを生かす。

### ①できること

・バルーンアートのことならなんでもお任せ！・年代を問わない集客のとれるプロレスができる。・リング、音響設備がある。・若い人たちとのつながりがある。・ボランティア(社会貢献)実績がある。・ハンドメイド、ワークショップができる。・誰にもまけない行動力がある。・建築関係のことならなんでも。・裏方サポートならお任せあれ！！

### ②やりたいこと

・とくになし

### ③やらなければならないと思うこと

・各団体強みを生かすため連携を図る

# 発信 する

■ 分かりやすく、適切な場所に伝え、拡散させる。

## ① できること

- ・ ネット広告、HP、FB、ブログなどで発信
- ・ 市の掲示板や市政だよりなどに告知

## ② やりたいこと

- ・ PVの作成、チラシを作って協賛を集める。

## ③ やらなければならないと思うこと

- ・ 開催地の交渉と確保・PRできる場（メディア）

# 耳を 傾ける

## ■地域ニーズの把握(地域密着)

### ①できること

- ・自分と違う人たちを集める。
- ・PTAや地方団体にアプローチをする。
- ・トーク力や営業力を活かす。

### ②やりたいこと

- ・とくになし

### ③やらなければならないこと

- ・地元の人と具体的な繋がりをもつ。
- ・開催地との交流。

# 共感 する

## ■積極的なコミュニケーション

### ①できること

- ・経験を活かし、感情をくみ取る。
- ・メンバーの意見をまとめる。

### ②やりたいこと

とくになし

### ③やらなければならないこと

コミュニケーションがとりやすい雰囲気作り

# 仲間を 増やす

## ■参加型イベント(展示・出店・パフォーマンス等)

### ①できること

- ・他のイベントに参加している人とコンタクトをとる。
- ・区民センターの利用者とコンタクトをとる。
- ・色々な団体と個人を繋ぐ。

### ②やりたいこと

- ・音楽、スポーツ、演芸などなんでもあり。
- ・クリエイターとのコラボ
- ・地域の人たちと交流できるスペースを作る

### ③やらなければならないこと

- ・何をするのかを明確にして伝える。
- ・入りやすい雰囲気を作る。
- ・リーダーシップを発揮する。

# 創造 する

## ■柔軟な発想で、新しいことにチャレンジ！

### ①できること

- ・自分の形で違う形を見る(客観的な視点で判断する)
- ・コーディネーション力を生かす。

### ②やりたいこと

- ・新しいイベントスタイルを作りたい。

### ③やらなければならないこと

- ・イメージを具体的にして伝える。
- ・他の事例を参考にする。
- ・しっかりと議論をする。

# 社会に 役立つ

## ■地域課題に対する支援

### ①できること

- ・子どもが安心して遊べる空間作り。

### ②やりたいこと

- ・子どもたちが安全に住める街にしたい。
- ・子どもや若者が出会いを通じて成長できる場を作る。
- ・来場した人にとって何かを得て帰ってもらいたい。
- ・一人でも多く(何の?)存在を知ってほしい。
- ・出展者や協力者にとっての利益(金銭?)
- ・オールフォーワン、ワンフォーオールの精神を広める。
- ・クリエイターが集まる街にしたい。

### ③やらなければならないこと

- ・社会的ニーズの把握・安心、安全の確保。

# 笑顔が 増える

## ■お互いに感謝しあえる関係性の構築

### ①できること

- ・自分がまずは楽しむ。・関わる人全てが楽しむための人集め。・ワクワク感を演出。・現実的(経済的)な視点からの支え(予算化)

### ②やりたいこと

- ・笑顔の写真でアートを創る。・自分のやりたいことができる。
- ・すべての人が楽しめること。・絆を広める。
- ・公益と利益の両立・団体を大きくする。

### ③やらなければならないこと

- ・笑顔があふれるビジョンを描くこと。
- ・たくさんの人に参加してもらうこと。

# 利益を 生む

■付加価値を生み出し、対価を得る。

①できること

- ・個人価値の向上
- ・団体価値の向上

②やりたいこと

- ・価値の向上
- ・斬新さのPR

③やらなければならないこと

- ・スポンサー集め

## 成長への の活力

■ 更なるドキドキ・ワクワクを求めて！

① できること

・新しいことに挑戦し、そこから学ぶ。

② やりたいこと

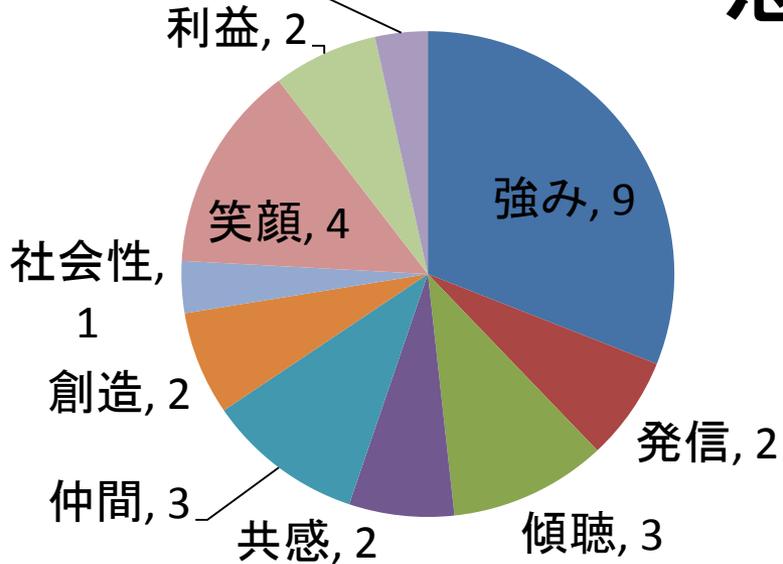
・生まれた利益を先行投資に使う。

③ やらなければならないこと。

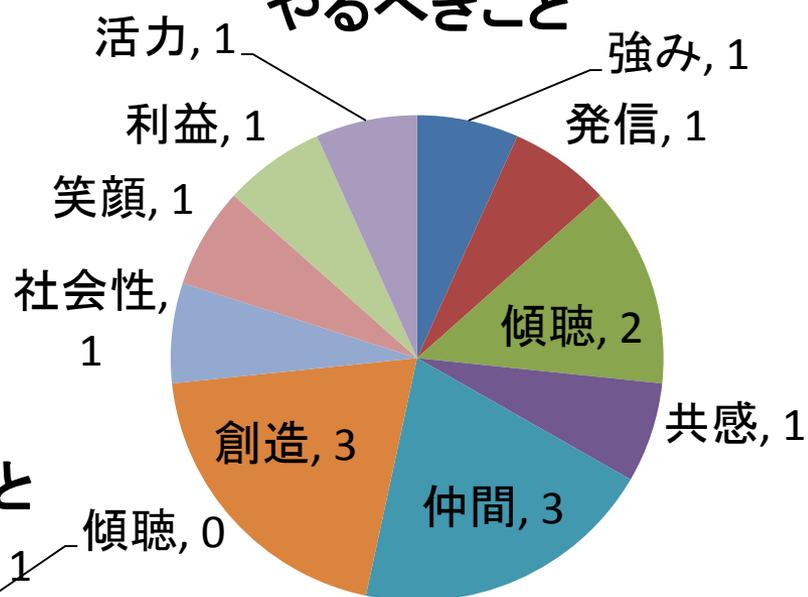
・チームとしての基盤を構築する。

# 意識分布

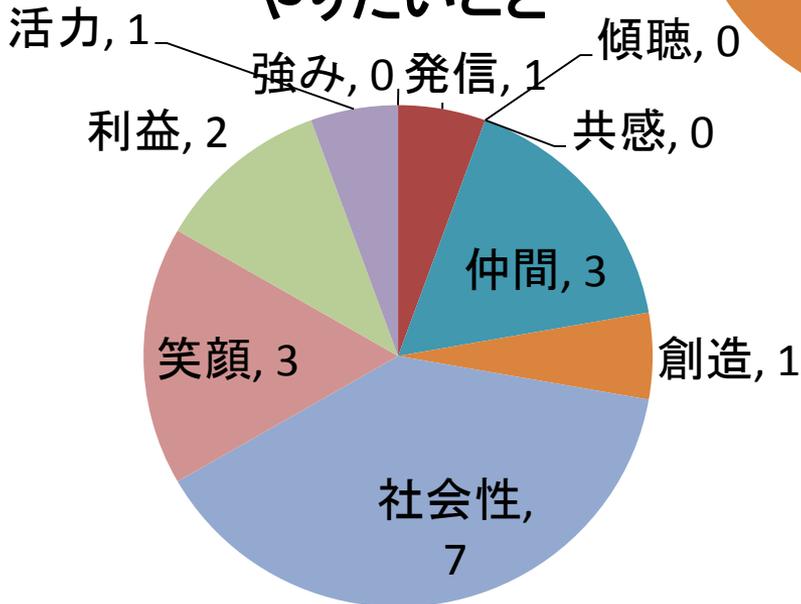
## できること



## やるべきこと



## やりたいこと



# 分析結果

## ■現状と課題

- ①各団体・個人に強みはあるが、それを十分に反映し発揮したいと思える状況にする必要がある。
- ②社会的に価値のあることとは何かを具体的に必要性がある。
- ③参加者や開催地のニーズ把握をしっかりと行う必要がある。
- ④創造性と利益をどのように生み出すか具体的に必要性がある。
- ⑤仲間を集めなければならないという意識は共有できている。

# 危機

■この課題をクリアしなければ・・・

個人間の不信が募り、何か新しい事がしたいが、時間やルールに縛られず自由にやりたい。なるべく負荷を掛けず分担したいという人が多いだけの集団になり、リーダーは、全ての面倒な負担を背負うだけの存在になってしまう。

# 課題達成のための方策

## STEP①

- 創造性を高めるため、ビジョンを掲げ、共有し議論を深めることができるようにする。

## STEP②

- 役割と責任を分担し、各人の持つ強みを発揮できるようにする。

## STEP③

- 連携を深めるために、コミュニケーションをしっかりとれる雰囲気を作る。

## STEP①

- 創造性を高めるため、ビジョンを掲げ、議論を深めることができるようにする。

### ■大阪盛上げ隊のビジョンとは(8月定例会)

「ひとりひとりの個性を発揮し、あらゆる人たちに耳を傾け、共感できる仲間と共に、斬新でワクワクする未来を創造し続けることにより、安心してイキイキと過ごせる「おもろい街」づくりに貢献しつつ、利益を生み出していくこと。」です。

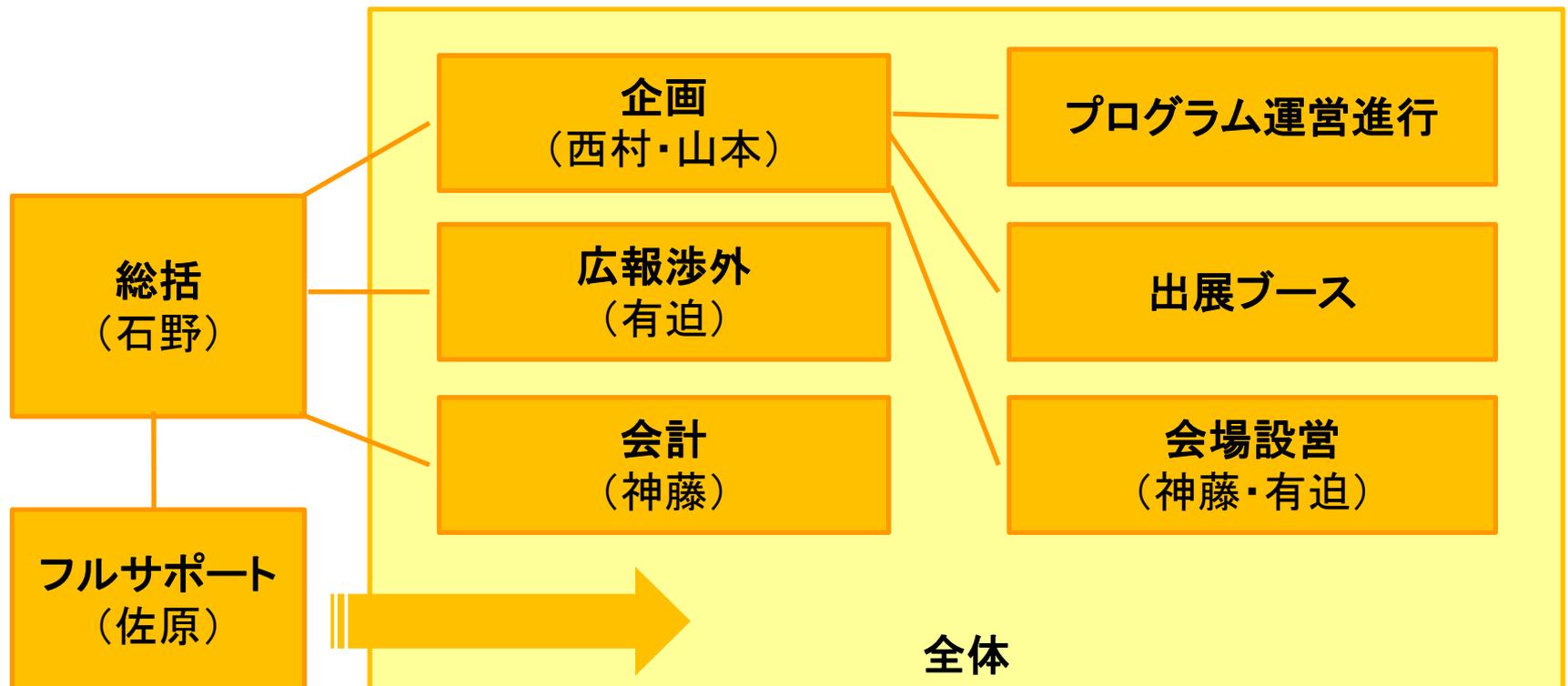
### ■月1~2回の定例会にて意見を共有。

⇒今後はより具体的な手段や方向性について議論。

STEP②

- 役割と責任を分担し、各人の持つ強みを発揮できるようにする。

## ■ 役割分担について※詳細は別紙参照



### STEP③

- 連携を深めるために、コミュニケーションをしっかりとれる雰囲気を作る。

#### ■ 信頼を築くためのコミットメント

- ① 「報・連・相」をしっかりと行う。
- ② 「期限」・「時間」を守る。
- ③ それぞれの「役割」を果たす。

#### ■ 場の活用

- ① 交流会をしてみてもどうか？
- ② お互いの活動を見学してみてもどうか？
- ③ 試験的なイベントをしてみてもどうか？

# その後の行動計画

## STEP④

- 我々の強みを生かした「テーマ」を定め、達成すべき短期目標を決定する。

## STEP⑤

- テーマに対する手段を明確にし、外部に発信する事で協力者の確保と集客を行う。

## STEP⑥

- 当日までの具体的な実施計画を作成し、全員のモチベーションを高め、維持する。

## STEP④

- 我々の強みを生かしたテーマを定め、達成すべき短期目標を決定する。

### ■西成イベントにおけるテーマについて(8月定例会での案)

「親子で一緒に楽しめる、防犯・防災の啓発イベントを行い、安心・安全に暮らせる街づくりに貢献する。」

### ■発揮される強みについて(9月定例会での案)

- ① プロレスを通じて正義の心と勇気と元気を子どもたちに感じてもらう。
- ② バルーンアートを使ってファミリー層の集客を行う。
- ③ HM物販やWSを通じて、子育て中の女性の興味を引く。
- ④ 子どもから大人まで楽しめるコンテンツになっている。

### ■短期目標について(9月定例会での案)

- ① 今後、イベントを実施するための基盤をしっかりと作成する。
- ② 参加する私たち自身の関係性の強化を図る。
- ③ 赤字を出さず、其々の団体や個人のPRをしっかりと行う。

## STEP⑤

- テーマに対する手段を明確にし、外部に発信する事で協力者の確保と集客を行う。

### ■主なコンテンツについて(案)

#### ①ステージ、イベントプログラム

プロレス興行・・・試合、肉体改造・フィットネス  
バルーンアート・・・実演、プレゼント  
全員参加・・・スタンプラリー等

#### ②協賛企業PR・出展ブース

家族層ターゲットの企業PR、物品販売や体験ブース

#### ③防犯・防災啓発ブース

防犯・防災に関連する市民活動のPR(体験・展示)

#### ④ふれあい交流スペース

こどもの遊び場、休憩所、その他の市民活動PR

## STEP⑥

- 当日までの具体的な実施計画を作成し、全員のモチベーションを高め、維持する。

### ■ 柔軟な対応と定期的な見直し

- ① 参加者同士のコラボレーション、新たに出た斬新なアイデアはとにかく柔軟に取り入れる。
- ② 定例会にて、全員が情報を共有し、定期的に見直しをかける。
- ③ 成功のイメージをみんなで共有する。